

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

特別展

歌舞伎と文楽の世界

—愛媛の伝統芸能—

平成21年7月14日[火]—8月31日[月]

開館時間／午前9時～午後6時30分(入館は閉館の30分前まで)(ただし7月14日～17日の開館は午後5時30分まで) 休館日／会期中無休
 主催／愛媛県歴史文化博物館 後援／愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・EBC愛媛
 観覧料／大人(高校生以上)500円(400円) 小中学生・65歳以上250円(200円) * ()内は20名以上の団体料金 * 他にお得な常設・特別展共通券もあります。

「歌舞伎」と「文楽」はユネスコ「世界無形遺産」に登録された伝統文化です。この伝統文化は江戸(東京)や上方(大阪)で発達しましたが、伊予(愛媛)でも庶民の娯楽として非常に盛んでした。現在でも、文楽では、伊予源之丞(松山市)・大谷文楽(大洲市肱川町)・朝日文楽(西予市三瓶町)・俵津文楽(西予市明浜町)・鬼北文楽(鬼北町)、農村歌舞伎では、川瀬歌舞伎(久万高原町)などの伝統芸能が受け継がれています。また、穴井歌舞伎(八幡浜市)や阿下歌舞伎(西予市野村町)・戸島歌舞伎(宇和島市)など、各地で衣裳などの歌舞伎資料が大切に保存されています。

今回の展示では、県の民俗文化財に指定されている豪華な歌舞伎衣裳や、巧みな文楽の人形頭などを中心に展示紹介します。また、早稲田大学演劇博物館から、昭和の名優六世中村歌右衛門が着用した歌舞伎衣裳や、国立劇場所蔵の芝居錦絵を出品・展示することで、芝居文化の歴史についても同時に紹介します。

「伝統芸能は難しくてわかりにくい」と思われがちですが、まずは歌舞伎・文楽がいかにも楽しく、奥深い文化であるのかをご理解いただき、伝統芸能に親しんでいただく「きっかけ」づくりを意図した展示です。楽しみ、親しむことは、地域の伝統文化を未来へつなげる原動力になります。この夏休み、伝統文化に触れてみませんか？



昭和の名優六世中村歌右衛門の衣裳(早稲田大学演劇博物館蔵)



↑朝日文楽(西予市三瓶町)



←俵津文楽(西予市明浜町)



文楽の人形頭(個人蔵・鬼北町教育委員会保管)



京鹿子娘道成寺 鐘供養の場(国立劇場蔵)



押隈(七代目松本幸四郎の梅王丸) 1934年(国立劇場蔵)

[展示構成]

- 1 伝統芸能の魅力
- 2 役者絵の世界
- 3 愛媛の歌舞伎
- 4 愛媛の文楽(人形浄瑠璃)

*期間中、一部の資料については展示替えを行います。

関連講座 ※要申込

『歌舞伎と文楽の世界』展の見どころ

日時/7月25日[土] 13:30～
講師/大本敬久(当館学芸員)

『歌舞伎の歴史』

日時/8月22日[土] 13:30～
講師/神楽岡幼子氏(愛媛大学准教授)

*申込方法は本紙4ページをご確認ください。

関連ワークショップ

体験!「歌舞伎メイクアップ」

歌舞伎独特の化粧法「隈取り」に挑戦して、役者気分を味わってみませんか？

日時/8月9日[日]・23日[日]

集合時間/14:00(総合案内前)

参加費/500円程度(特別展観覧券が必要です)

対象/小・中学生

申込不要
先着20名

「造研」「沼田郡」と刻まれた硯

出土地 伊予市平松遺跡
年代 奈良時代
サイズ 脚径推定20cm
所蔵 愛媛県教育委員会蔵

今年、愛媛県今治市と広島県尾道市を結ぶしまなみ海道(西瀬戸自動車道)は開通から10周年を迎えましたが、土の中から掘りだされたものの中にも、しまなみ交流がうかがえるモノがあります。

平成2年、伊予市上三谷の県道工事に伴う発掘調査現場で円面硯の破片が見つかりました。円面硯とは、私たちが通常目にする長方形をした黒い石の硯と異なり、主に平安時代以前に使われた焼きものの硯で、墨をする面がまるくなっているものです。

この硯の裏面には文字が刻まれており、それは近年の研究で「造研」、「沼田郡」と記されていることが明らかになりました。「研」は硯のこと、「沼田郡」は広島県南東部の三原市・竹原市付近を意味しています。このことから、この硯は現在の広島県南東部で作ら



れ、それが海をわたって伊予市平松遺跡周辺で使用されていた、またはその逆、平松遺跡周辺で沼田郡に供給するための硯を製作していた可能性が指摘されています。この時代、字が書ける人は主に役人が僧侶でしたので、平松遺跡周辺に郡の役所か寺院、あるいは焼き物を製作するための窯が存在していたことが考えられます。

(専門学芸員 亀井英希)

民俗

百一首かるたコレクション

百一首は鎌倉時代初期に藤原定家によつて撰定され成立したといわれています。かるたは「歌留多」とも書き、日本古来の遊びのようには思えません。しかし実際には、かるた遊びは十六世紀にポルトガル人によつてもたらされたもので、語源もポルトガル語の「carta」(英語でいえば「card」)です。江戸時代に歌かるた遊びが一般化し、札取りを競い合うゲームとして庶民に普及しました。

江戸時代の百一首かるた(写真上)は、読み札には作者の名前と上の句だけが手書きで書かれ、取り札には下の句が書かれています。なお、この資料は江戸時代後期に宇和島藩内で使用されていたものです。写真右下のかるたは明治時代中期のもので、この時代には現在のようには読み札に一首すべてが印刷表記されるようになります。しかし取り札の文字配列が現在のような三行書きになつていません。三行書きにな



年代 江戸時代～昭和時代
所蔵 当館蔵

(専門学芸員 大本敬之)

* 「造研」「沼田郡」と刻まれた硯は、歴史展示室1に展示中です。

夏休みイベント

「歴博あんどん祭り～光の花道～」

特別展「歌舞伎と文楽の世界—愛媛の伝統芸能—」関連イベントとして、幻想的な光を放つ“あんどん”をエントランスホールへ設置し、“光の花道”を演出します。やわらかな光に包まれた歴博で一緒に夏の夜を楽しみましょう。また「オリジナルミニ・あんどんをつくろう」と題したワークショップを行います。皆さんも世界にたった一つしかないあんどんを作ってみませんか？

キャラクター名 大募集中

はじめまして！ぼくは歴博の新キャラクターです。
平成21年5月2日生まれ、ハニワの国から来た男の子だよ。
これからみんなと一緒にイベントなどに参加するよ。
…でもぼくにはまだ名前がありません。
みなさん、ぼくの名前を考えて応募してね!!

募集期間：平成21年7月31日（金）まで

応募資格：愛媛県内にお住まいの方

応募方法：当館内の応募ボックスへ応募用紙を投函いただくか、
FAX・郵送・ホームページ上からもご応募いただけます。

結果発表：秋頃発表予定

賞品：採用された方1名に「図書カード1万円分および
キャラクターオリジナルグッズ」をさしあげます。

※ご注意※

- ◆ご記入いただいた個人情報は、「キャラクター名募集企画」のみに使用させていただきます。
- ◆採用名の著作権・使用権はイヨテツケーターサービス株式会社に帰属するものとします。
- ◆応募の内容に不備がある場合や、ご連絡先が不明の場合などは応募を無効とします。



歴博レストラン&ミュージアムショップが オープンしました!

レストラン開店時間
10:00～15:00 (ラストオーダー14:30)

レストランではビーフカレー、牛丼、稲庭風うどん等の軽食や、充実したドリンクメニューをご用意しております。
また、ミュージアムショップは“昭和の駄菓子屋”をイメージし、懐かしの駄菓子やおもちゃ、プロマイドを販売しております。ぜひお越しくださいませ。

ミュージアムショップ開店時間
10:00～15:00



特別展記念講演会「歌舞伎と遊ぶ」

講師:松井今朝子氏(作家・2007年直木賞受賞)
 日時:8月8日(土) 11:00~12:00
 会場:当館 多目的ホール
 参加費:特別展観覧券が必要です。
 申込方法:往復ハガキに住所・お名前・年齢・電話番号をご記入の上、
 「松井今朝子先生講演会」係までお申し込みください。
 (1通につき、4名までお申し込みできます。その場合は代表者を
 明記してください。)

歴史文化講座

民俗講座

講座番号 ① 特別展関連「歌舞伎と文楽の世界の見どころ」
 日時:7月25日(土) 13:30~15:00
 講師:大本敬久(当館学芸員)

講座番号 ② 特別展関連「歌舞伎の歴史」
 日時:8月22日(土) 13:30~15:00
 講師:神楽岡幼子(愛媛大学准教授)

歴史・文書講座

講座番号 ② 「南予の庄屋文書を読む」(全2回)
 日時:①8月9日(日) 13:30~15:00
 ②9月13日(日) 13:30~15:00
 講師:安永純子(当館学芸員)

講座番号 ③ 「近代における城郭の公園化-城山公園と道後公園-」
 日時:8月29日(土) 13:30~15:00
 講師:平井誠(当館学芸員)

体験講座

講座番号 ⑤ 「昔の鏡をつくってみよう」
 日時:7月26日(日) 13:30~15:30
 講師:亀井英希(当館学芸員)
 対象:小・中学生/材料費:600円程度

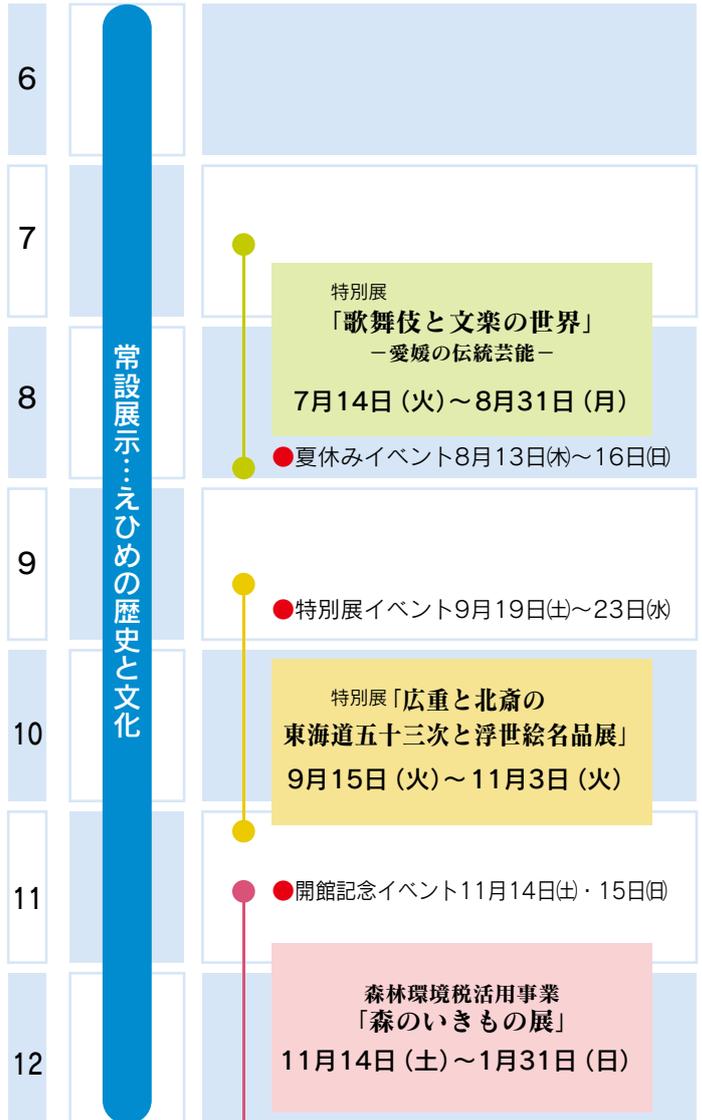
講座番号 ⑥ 「土佐・絵金蔵をたずねる」
 日時:8月1日(土) 8:00~19:00
 参加費:4,500円程度(交通費等込)

【各講座の申込方法】

希望する講座番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前までにはがきなどでお申し込みください。
 ※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係
 TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

展示スケジュール2009.6-12



※都合により行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用案内

■開館時間/9:00~17:30(入館は17:00まで)

■休館日/月曜日(下記のカレンダーをご参照ください。)

■観覧料

	大人	65歳以上	小・中学生
常設展	500円(400円)	250円(200円)	無料
特別展	500円(400円)	250円(200円)	250円(200円)
常設・特別展共通券	700円(560円)	350円(280円)	250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金

Museum Calendar 2009.6-7

●休館日

6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

愛媛県歴史文化博物館
 MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE
 管理運営:指定管理者 イオテックターナーサービス株式会社
 〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222

●発行日 平成21年6月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

夏休みは
毎日開館しています!

7/18(土)~8/31(月)

は開館時間を1時間延長し、
毎日開館しています。

開館時間

9:00~18:30

(入館は18:00まで)

■臨時休館のお知らせ■

6/23(火)、24(水)

博物館では、年に1回、
収蔵資料をかびや害虫から
守るため、くん蒸(虫・
菌の防除)を行っています。